

「プラスチック資源循環アクション宣言」 の応募状況について

平成31年 3月12日

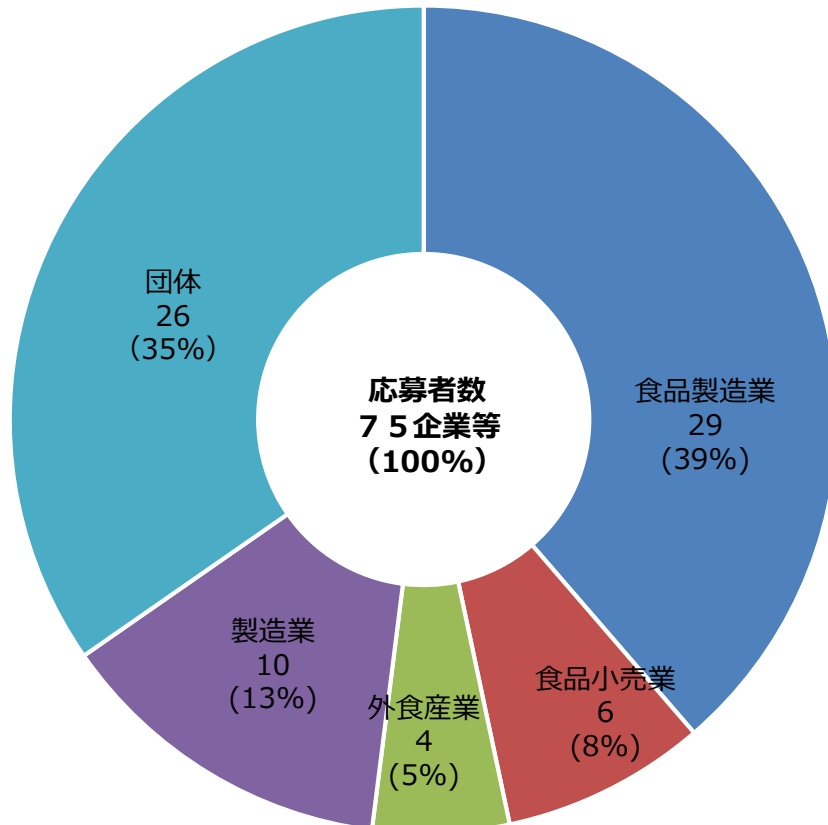
農 林 水 産 省
食料産業局バイオマス循環資源課
食料産業環境対策室



プラスチック資源循環アクション宣言の応募状況

- 農林水産省は、農林水産・食品産業の各企業・業界団体に、プラスチックの資源循環に資する自主的取組を促していくことを目的に、「プラスチック資源循環アクション宣言」を募集。
- 平成30年10月30日から公募を開始し、平成31年3月7日現在、75件の応募。
- 応募した企業を業種別にみると、食品製造業が最も多く、4割を占める。

応募した企業等の内訳

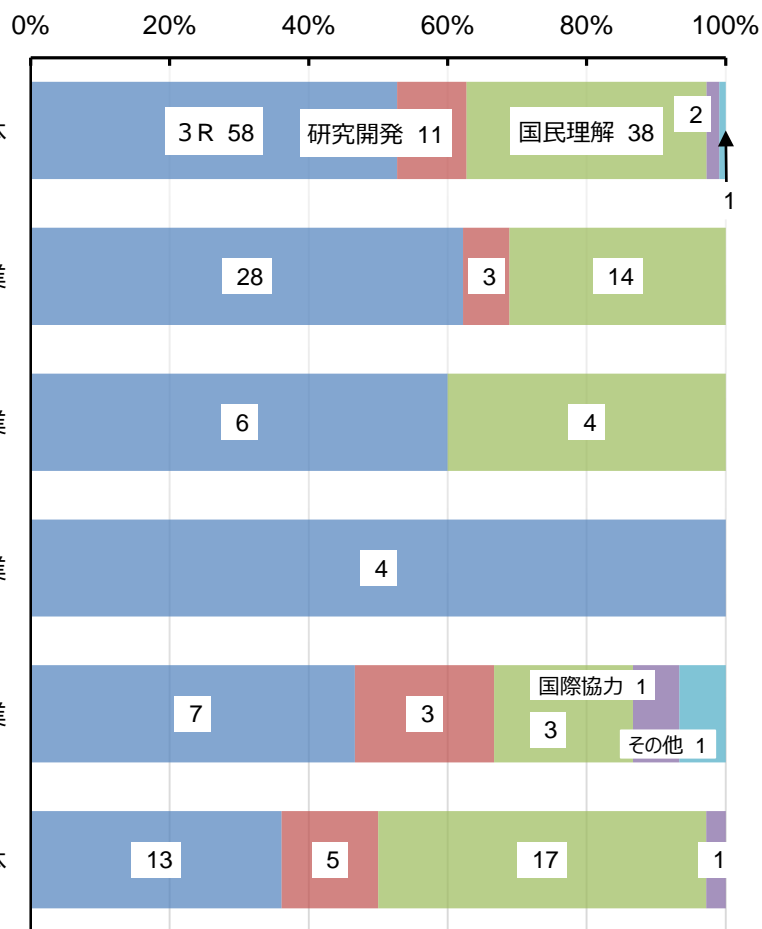


- 食品製造業は、食料品、冷凍食品、パン・菓子、飲料、調味料及び油脂などを製造している企業
- 食品小売業は、コンビニエンスストア、食料品スーパーなど
- 外食産業は、ファミリーレストラン、ファーストフード店など
- 製造業は、容器包装メーカーなど
- 団体は、PETボトルリサイクル推進協議会、飲料メーカー団体、生活協同組合団体、農業生産資材の製造、流通、利用の関係団体、漁業協同組合・海岸美化関係団体など

プラスチック資源循環アクション宣言の自主的取組の内容

- 自主的取組の内訳としては、3R（リデュース、リユース、リサイクル）が最も多く5割、次いで国民理解の促進、研究開発の順となっている。

自主的取組の状況



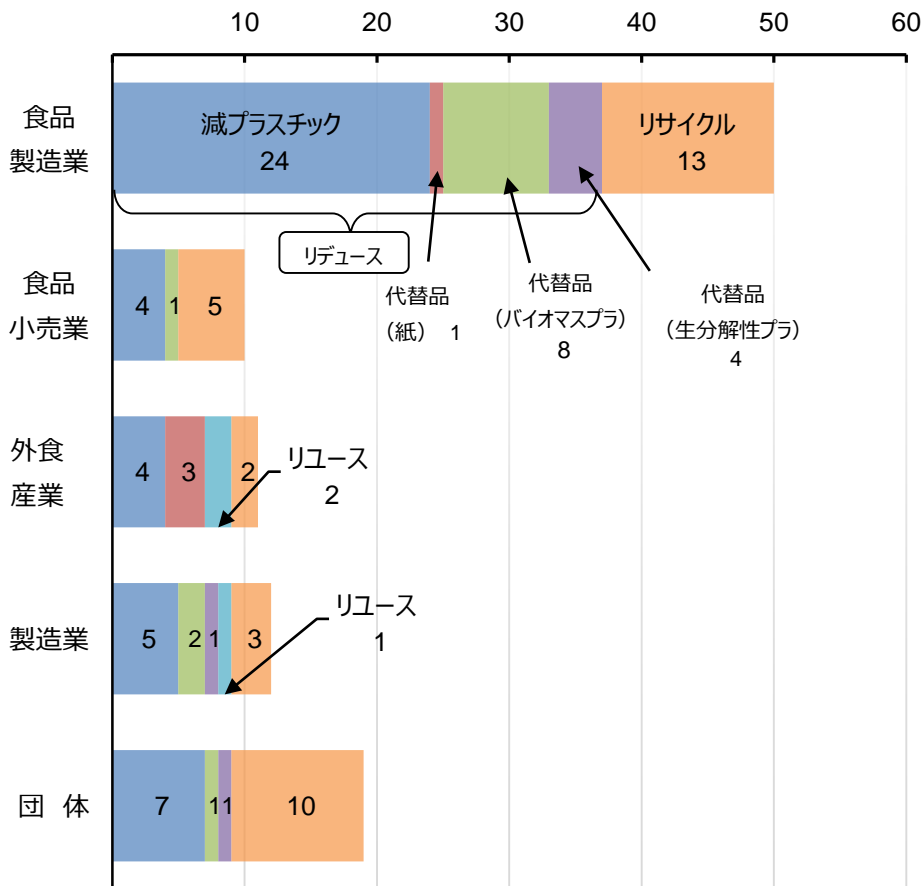
主な自主的取組

- 食品製造業
 - 容器包装の減容化・軽量化
 - 食品製造でのプラスチックの排出抑制・リサイクル
 - 再生材の容器包装の活用
 - プラスチック代替品の研究開発・利活用の検討
 - 地域住民との環境美化活動
- 食品小売業
 - レジ袋の削減・有料化
 - 容器包装等(トレー、PETボトルなど)の回収リサイクル
 - 地域住民との環境美化活動
- 外食産業
 - プラスチック製ストロー禁止・代替品の提供
 - プラスチック製食器のリユース品の活用
- 製造業
 - 容器包装の減容化・軽量化
 - 容器包装等の開発研究
 - バイオマスプラスチック等の開発・量産化
 - 消費者への代替品、リサイクル品の普及・啓発活動
 - 国際会議等でプラスチック代替素材の紹介
- 団体
 - 容器包装などの自主設計ガイドラインによるリサイクルの向上
 - プラスチックの排出抑制・分別回収などのリサイクルの普及・啓発活動
 - 地域住民との環境美化活動
 - 海外からの要請に伴う支援

プラスチック資源循環アクション宣言の3Rの取組内容

- 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組をみると、リデュースの取組が最も多い。
- 更にリデュースの取組の内訳をみると、減プラスチック（減容化・軽量化等）の取組が多いが、バイオマスプラスチック等の代替品の開発や利活用の取組がみられる。

3Rの取組の内訳



■ 排出抑制（リデュース）

- ✓ 商品・製品の製造にあたり、環境配慮設計を推進し、さらなるプラスチック使用の減容化等による排出抑制
- ✓ プラスチックの代替品の研究・開発、事業活動の中で代替品の利活用を促進

■ 再使用（リユース）

- ✓ プラスチック製の食器、容器等を繰り返し使用
- ✓ 繰り返し使用できるプラスチック製品の提案

■ 再生利用（リサイクル）

- ✓ 製造の残さプラスチックを自社で再生利用
- ✓ プラスチックの自主回収を向上させるシステムの改善・最適化の検討
- ✓ 再生材の利用拡大
- ✓ 適正処理によるリサイクル向上の普及・啓発

プラスチック資源循環アクション宣言の発信

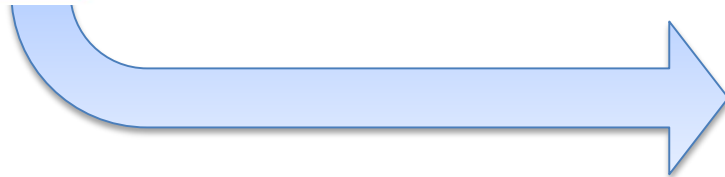
- 農林水産省のホームページにプラスチック資源循環のサイトを立ち上げ、応募のあった全ての宣言をホームページに掲載し、広く国民に発信
- この他、食品産業等を参集したセミナー、業界誌への寄稿など、様々な機会を通じて自主的取組を紹介

農林水産省のホームページ



キーワード

農業競争力強化支援法 | 「まるみえアグリ」 | 農業技術総合ポータル | 収入保険制度 | 米政策改革 | 米の輸出 | 食料自給率・食料自給力 | 輸出促進/GFP (外部リンク) | 経営所得安定対策 | 農地中間管理機構 | 6次産業化 | JAS規格 | 和食 | 農業女子 | ディスカバー農山漁村 (むら) の宝 | 食育 | GAP-info | **プラスチック資源循環** | 明治150年



ホーム > 食料産業 > リサイクル食料ロス > プラスチック資源循環



プラスチック資源循環

近年、国内外でプラスチック資源循環が問題となっている中で、農林水産・食品産業においても、食品の容器包装等消費者に極めて身近な多くのプラスチック製品を利活用していることから、積極的に対応していく必要があります。

このような中で、国内においては、既に食品等の容器包装をはじめ、リデュース、リユース、リサイクル（3R）に係る各種の法制度が入り込まれ、PETボトルにおいては6割を超える高いリサイクルを実現しているなど、廃棄物の処理システムが運用されている。加えて、各業界・企業においてはそれぞれの業態・事業に即し、排出抑制、回収・再利用について独自の取組が展開されています。

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/pura/index.html>

「プラスチック資源循環アクション宣言」の応募状況 企業・業界団体一覧表

2019年3月7日現在

No	企業等名称 (応募順)	業 種	主な取組内容	内 容				
				3 R	研究 開発	国民 理解	国際 協力	その他
1	ユニー株式会社	食品小売業	①使用済みプラスチックのリサイクルループ ②ペットボトルのキャップにより寄付、再生 ③レジ袋有料化 ④バイオマスプラスチック製容器包装の導入	○				
2	一正蒲鉾株式会社	食品製造業	①使用済みプラスチックのリサイクル ②使用する食品トレーの減量化 ③代替素材の研究 ④環境経営	○				
3	株式会社セブン&アイ・フードシステムズ	外食産業	①デニーズでのストロー提供原則禁止	○				
4	株式会社ファインテック	機械製造業	①バイオマスプラスチック等の開発・量産化					○
5	日本ハム株式会社	食品製造業	①容器包装の簡易化による廃棄物の削減	○				
6	株式会社いなげや	食品小売業	①ペットボトルの回収推進、自動回収機の導入 ②ボトルtoボトル(BtoB)の推進 ③ペットボトルの売却益を小学校等に還元(ペットボトル募金)	○		○		
7	国分グローサースチェーン株式会社	食品小売業	①店舗においてはレジ袋の使用削減を図る ②商品展示会においてもプラスチック問題を取り上げ、啓発活動	○		○		
8	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	食品小売業	①ペットボトル回収機の設置(首都圏 300店舗)	○				
9	公益社団法人 食品容器環境美化協会	団体	①統一美化マークをシンボルとするポイ捨て防止の啓発 ②環境美化教育の支援(表彰) ③市民、企業、自治体等の連携による美化活動(アダプトプログラム)			○		
10	アサヒ飲料株式会社	食品製造業	①通信販売におけるラベルレス商品の発売 ②ペットボトルの減量化 ③植物由来原料の使用 ④環境美化活動	○		○		
11	ダイドードリンコ株式会社	食品製造業	①ペットボトルの自主回収率の向上	○				
12	キリンホールディングス株式会社	食品製造業	①再生樹脂を100%使用したR100PETボトルの導入(BtoB)	○				
13	サントリーホールディングス株式会社	食品製造業	①パッケージの軽量化・薄肉化 ②BtoBからF(フレーク)toPダイレクトリサイクル技術の開発・導入 ③植物由来原料100%ペットボトルの開発	○	○			
14	株式会社伊藤園	食品製造業	①独自のボトル充填システム(NSシステム)を共同開発・採用 ②ペットボトルの軽量化 ③環境美化活動	○	○	○		
15	森永乳業株式会社	食品製造業	①容器包装の環境負荷について認識し、環境配慮設計を推進 ②プラスチックのリサイクルシステムの改善・最適化に協力 ③リサイクルの重要性と分別について消費者啓発を推進	○		○		
16	大塚製薬株式会社	食品製造業	①ペットボトル及び容器包装の軽量化 ②環境美化活動	○		○		
17	日本コカ・コーラ株式会社	食品製造業	①ペットボトルのBtoBと植物由来化 ②容器回収・リサイクルスキームの構築 ③環境美化活動	○		○		
18	UCC上島珈琲株式会社	食品製造業	①都庁舎内店舗における紙ストローの試行参加	○				
19	雪印メグミルク株式会社	食品製造業	①アルミ箔が付着している端材プラスチックの再利用	○				
20	農業用フィルム リサイクル促進協会	団体	①使用済み農業用フィルムの100%回収をめざした啓発活動、優良事例の紹介等 ②使用済み農業用フィルムのスムーズな処理、持続可能な国内循環モデルの調査、開発及び普及	○	○			
21	日清食品ホールディングス株式会社	食品製造業	①プラスチック製容器から紙製容器への変更 ②バイオマスプラスチックの導入検討	○				
22	株式会社明治	食品製造業	①プラスチック製品容器包装の軽量化・薄肉化、プラスチックから紙へ変更 ②環境に配慮した素材の使用 ③生産工程のプラスチックの再生品へのリサイクル ④物流工程におけるプラスチックの使用量削減とリサイクル ⑤環境美化活動	○		○		

No	企業等名称 (応募順)	業種	主な取組内容	内 容				
				3 R	研究 開発	国民 理解	国際 協力	その他
23	農業用生分解性資材普及会	団体	①生分解性マルチの利用促進 ②生分解性マルチの特性の有効活用 ③生分解性マルチ・プラスチックの利用場面の拡大 ④生分解性マルチへのカーボンニュートラルな原料導入 ⑤国際協力		○		○	
24	株式会社フジ	食品小売業	①店頭での資源回収 ②レジ袋の使用量削減 ③ピーチクリーン活動	○		○		
25	ヤマサ醤油株式会社	食品製造業	①環境負荷の低減も考慮し、樹脂量の削減	○				
26	日本マクドナルド株式会社	外食産業	①「ほんのハッピーセット」プログラム(プラスチックおもちゃから絵本へ) ②プラスチックカップから紙カップに変更 ③プラスチックバッグの削減 ④「ハッピーりぼん」プロジェクト(店頭で回収したおもちゃをトレイに再生)	○				
27	日本肥料アンモニア協会 全国複合肥料工業会	団体	①被覆肥料殻の農耕地からの流出防止の一層の強化 ②被覆肥料殻の分解性の向上と被覆樹脂使用量の削減に向けた技術開発 ③他の機能性肥料の活用場面の拡大	○	○			
28	一般社団法人日本植物油協会	団体	①容器包装のプラスチック使用量の削減 ②プラスチックのリサイクルの推進	○				
29	日清オイリオグループ株式会社	食品製造業	①生産工程でのゼロエミッション継続 ②環境負荷の少ない容器・包装開発	○				
30	株式会社J-オイルミルズ [®]	食品製造業	①新素材や新技術の導入(植物由来のバイオマスプラスチックなど) ②プラスチック容器包材の改善(軽量化、薄肉化など)	○				
31	株式会社エフピコ	製造業	①リサイクルの消費者普及啓発活動 ②「トレイtoトレイ」と「ボトルtoトレイ」のリサイクルによる廃プラスチックの削減 ③食品容器の薄肉化による廃プラスチックの削減 ④「二軸延伸PET」技術によるPET樹脂の省資源化	○		○		
32	株式会社モスフードサービス	外食産業	①リユース食器の活用 ②石油由来素材の使用削減	○				
33	カゴメ株式会社	食品製造業	①商品におけるプラスチック使用量低減の継続推進 ②生産工場におけるゼロエミッション(含 廃プラスチック)の継続推進 ③再生PET原料の利用検討 ④プラスチック容器の散乱防止啓発のための環境美化活動の継続推進	○		○		
34	株式会社ニチレイ	食品製造業	①容器包装について、薄肉化のほか、トレーの使用やアルミ蒸着を見直し ②事業所周辺において、地域の清掃活動に取り組む	○		○		
35	株式会社精工	製造業	①減プラスチック化 ②リユースの促進 ③プラスチックフィルム袋に印字(「包む」でエコ)することで、生活者にも広く発信	○		○		
36	株式会社セコマ	食品小売業	①店舗にて、店内放送でのレジ袋削減の呼びかけ ②たまごパックの回収(価値付け:BOXティッシュ交換)	○		○		
37	ワタミ株式会社	外食産業	①プラスチック製品の段階的使用の低減(リデュース) ②積極的な再使用(リユース)と再生利用(リサイクル) ③排出者責任の原則に基づく分別の徹底と適正処理の遵守	○				
38	株式会社悠心	製造業	①プラスチック減量化を可能にした容器の開発 ②プラスチック減量化を図る液体充填包装機の開発	○				
39	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社	食品製造業	①可能な限りPETボトルの軽量化を実施(使用量の削減) ②可能な限りキャップの軽量化を実施(使用量の削減) ③可能な限り容器全体の軽量化を実施(使用量の削減)	○				
40	コープデリ生活協同組合連合会	団体	①宅配・店舗において牛乳パックやペットボトルなどのリサイクル ②美ら島応援もずくプロジェクト	○		○		
41	生活協同組合コープみらい	団体	①店舗では、マイバッグの持参を呼びかけて、レジ袋削減	○				

No	企業等名称 (応募順)	業種	主な取組内容	内 容				
				3 R	研究 開発	国民 理解	国際 協力	その他
42	一般社団法人 全国清涼飲料連合会	団体	2030年度までにPETボトルの100%有効利用を目指す ①環境負荷を踏まえた環境配慮設計を推進 ②持続的なりサイクルシステムに取組、回収と再生利用の最適化・増進 ③再生材利用拡大(ボトルtoボトル等)を推奨 ④関係団体との連携協議により、まち美化・環境活動、ポイ捨て防止、再生素材利用製品の積極利用等、消費者への啓発活動の取組	○		○	○	
43	公益財団法人 海と渚環境美化・油濁対策機構	団体	①全国各地の団体等を支援し、海と渚の環境美化(海浜清掃)活動及び環境保全の重要性の啓発普及等を実施 ②水産業で使用された発泡スチロールが海に流出しないよう適切な管理・処理	○	○	○		
44	アイ-コンポロジー株式会社	製造業	①境負荷の小さいバイオプラスチック複合材開発及び市場展開		○			
45	株式会社BIM	製造業	①新素材LIMEX(プラスチックの代替)の開発・活用 ②生分解性LIMEXの開発 ③LIMEX製レジ袋、ゴミ袋、ショッパーの開発 ④脱プラスチックを社内で啓発するため、毎月、月初の一週間を「脱・プラ袋WEEK(マンスリー施策)」 ⑤自治体、団体の連携して、サーキュラー・エコノミーを啓発、循環型社会形成の取組 ⑥国際会議において、LIMEX製及びPlax製のレジ袋、ゴミ袋、ショッパーのコンセプトモデルを紹介	○	○	○	○	
46	株式会社 ヤクルト	食品製造業	①プラスチック使用量の削減や生産工程で使用するプラスチック製梱包の再利用等取り組み ②お客さまへの分別回収等に関する啓発活動	○		○		
47	大分県漁業協同組合	団体	①発泡スチロール減容機により、沿岸漁村に放置されている多量の沿岸漂着ゴミの処理を推進 ②漁業活動により生じる廃フロートの処理	○				
48	Texchem Japan Inc.	製造業	①持続可能な循環型社会の実現に向けて、農業廃棄物を再利用したバイオプラスチックの普及 ②従来のプラスチックと同等の性能、コストを実現し様々な用途で活用可能な”普及型”バイオプラスチックで循環型社会の実現を目指します	○				
49	ヤマサちくわ株式会社	食品製造業	①「海に感謝、人に感謝」をテーマに掲げ、20年以上、海岸清掃活動			○		
50	山崎製パン株式会社	食品製造業	①容器包装のリデュースを通して、プラスチック資源の節約の取組 ②河川、海岸、地域清掃活動	○		○		
51	太子食品工業株式会社	食品製造業	①商品におけるプラスチック使用量低減の継続推進 ②生産過程で発生する廃棄プラスチックは、再生処理事業者を通じて再生品へのリサイクル推進 ③事業所において河川や周辺地域の清掃活動への参加	○		○		
52	株式会社だいたい久製麺	食品製造業	①リデュースの継続的推進 ②リサイクルの協力 ③環境美化活動	○		○		
53	株式会社ヨコタ東北	製造業	①プラスチック製のフィルムがはがれる食品容器を開発、使用することで持続可能な取組み	○				
54	PETボトルリサイクル推進協議会	団体	①PETボトル自主設計ガイドラインの運用 ②PET ボトルリサイクル推奨マークの運用	○		○		
55	全国野菜園芸技術研究会	団体	①使用済みプラスチックの排出量抑制 ②使用済みプラスチックの回収・適正処理体制の維持強化 ③リサイクルが円滑に行われるよう、排出に当たっては種類の分別や異物の除去を徹底	○				
56	一般社団法人日本花き生産協会	団体	①使用済みプラスチックの排出量の抑制のため、使用期間の長い資材の利用を促進 ②使用済みプラスチックの回収・適正処理体制の維持強化に協力 ③使用済みプラスチックのリサイクルが円滑に行われるよう、種類の分別や異物の除去を徹底	○				
57	キッコーマン株式会社	食品製造業	①容器・包装の減量化、分別再利用しやすい形状 および材質 の利用、開発 ②持続可能で環境に優しい 資源の利用、バイオマス樹脂の導入 ③リサイクル材を用いた環境負荷低減容器の開発	○	○			
58	石川県漁業協同組合	団体	①石川県水産振興事業団と協力し、海浜清掃への積極的な参加 ②海岸で年1回行われる海浜清掃、各漁場では、漁協職員や漁業者が地区毎に計画して漁港周辺や海岸一帯を清掃			○		

